

2年度決算を  
認定

3日間にわたり  
延べ180件の質疑  
4日目に議員間討議

今回の議会では、2年度一般会計・各特別会計・下水道事業会計の決算認定議案が町から上程され、審査の結果、いずれの会計も全会一致で認定されました。

( )内は前年度比

会計名	歳入	歳出
一般会計	187億2,544万7,508円 (+13.6%)	183億 261万1,237円 (+13.4%)
国民健康保険	35億9,433万6,542円 (-4.1%)	35億6,476万4,418円 (-3.8%)
駅西土地区画整理事業	11億3,098万 937円 (-26.7%)	10億9,819万6,753円 (-25.8%)
介護保険	24億3,811万 959円 (+6.2%)	23億7,786万1,101円 (+3.8%)
後期高齢者	7億7,829万5,622円 (+5.8%)	7億7,135万8,389円 (+6.0%)
殿ヶ谷財産区	264万7,029円 (-46.5%)	181万7,107円 (-55.8%)
石畑財産区	1,078万5,405円 (-44.6%)	863万6,332円 (-49.4%)
箱根ヶ崎財産区	450万4,810円 (+55.8%)	306万7,040円 (-65.5%)
長岡財産区	79万1,167円 (-14.4%)	50万4,630円 (-21.5%)
会計名	収益的収入	収益的支出
	12億9,522万3,089円	11億6,649万6,859円
下水道事業会計※	資本的収入	資本的支出
	3億6,725万8,300円	5億3,004万6,146円

※2年度開始のため前年度比はなし



1～3日目 町の説明員同席のもと審査  
4日目 議員間討議

委員長 原 隆夫  
副委員長 森 巨

決算特別委員会で審査

議案が上程された後、議会では、決算特別委員会を設置し、議長、議会選出監査委員を除く12名により審査を行いました。

賛成討論

森 巨 議員

2年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、予定していた149の事業が中止、縮小、延期となった。しかし、コミュニティバス運行実現に向けた協議および事務事業、第5次長期総合計画、都市計画マスタープランの策定、待機児童ゼロの実現、町独自の事業継続支援給付金の実施など、コロナ対策をしながら、重要な事業や施策に取り組み、実現させた。また、町のワクチン接種事業については、集団接種と個別接種の併用などさまざまな工夫により効率的な接種体制を確立し実施したことなどは特に高く評価できる。



新型コロナウイルス対策のため、議場で審査を行いました。

pick up 1

議案第63号 令和3年度瑞穂町一般会計補正予算（第8号）を可決

キャッシュレス決済の普及・促進を

- Q キャッシュレス決済機器導入促進事業委託料と補助金で再度約250万円計上しているが内容は。
- A 町内の中小店などにキャッシュレス決済を普及するため、必要な機器の導入経費の一部を補助し、その活用を促すことで商業のデジタル化、新しい生活様式の促進を図る。補助率は3分の2で上限は10万円。ただし、フランチャイズ店は除く。



日ごろの防災活動に財団から170万円の補助

- Q 武蔵野自衛消防隊装備品として約171万円を計上しているが内容は。
- A 一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業による宝くじ助成で、170万円の補助を得て装備品を購入する。内容は、隊員の作業着、編み上げ靴、防寒着、カスタムベルト、業務用無線など16点を予定している。

コミュニティバス 実証実験運行を開始

- Q コミュニティバス運行事業として当初予算では2,500万円計上していたが、今回さらに4,000万円計上している。主な内容は。
- A バスの購入、バス停標識の作成、既存バス2台の改修、PasmoやSuicaなどに対応するためのIC機器設置、中型バス2台のリース代、人件費、燃料費、保険や事務に係る経費など。
- Q 今後の年間経費はどのように見込まれるのか。
- A 年1億円を超える経費が必要と見込んでいるが、最終的には、年度末に運行等の収入を差し引いた額となる。また、助成金については、都と協議をしている。

